

# 2016年7月20日の経営会議の概要

日時	：2016年7月20日（水）	午前8時30分～午前10時30分
会場	：政策会議室	
委員・幹事	：市長、高橋副市長、山田副市長、政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長	
説明	：議題1 福祉総務課長、福祉総務課担当課長 議題2 都市づくり部長、経済観光部長、都市整備担当部長、地区街づくり課長、産業観光課長 議題3 経済観光部長、産業観光課長、産業観光課観光まちづくり担当課長	

## 議題1：第2次町田市福祉のまちづくり推進計画の策定について（地域福祉部）

### 【付議の目的】

○第2次町田市福祉のまちづくり推進計画の策定に向けた、方向性・進め方について、承認を受ける。

### 【提案の概要】

2014年に東京都「福祉のまちづくり推進計画」（第3次）が策定され、翌年には東京都福祉のまちづくり推進協議会の意見具申が出されている。これらを受け、東京都ではオリンピック・パラリンピックの開催を見据え、ハード整備に加え、ソフト面（心と情報）のバリアフリー・ユニバーサルデザインの普及啓発の取組を強化している。また、バリアフリーが進んだ自治体では、自治体主導から市民協働によるユニバーサルデザインのまちづくりへ、方向性をシフトしている。

上記の現状を鑑み、町田市では2017年度から2020年度までの4年間を計画期間とする、第2次町田市福祉のまちづくり推進計画を策定する。策定にあたっては、関係する上位計画や個別計画と連携し、ユニバーサルデザインの考えの普及啓発強化や、前計画にはなかった市民参加・協働の活性化の視点を加え、策定する。

本計画では、前計画である町田市福祉のまちづくり推進計画の2つの未来像である、「すべての人がずっと住み続けられる、安全で快適で思いやりのあるやさしいまち」「すべての人が、一人ひとりの人間として尊重され、社会に参加し、いきいきと暮らすことのできるまち」と、4つの目標である「みんなが安心して利用できる施設・都市基盤が整備されたまち」「みんなが楽におでかけできるまち」「みんなが互いに情報を伝え合い、共有できるまち」「みんなが互いに気づき、思いやりの心をはぐくむまち」を引き継ぎ、3つの推進分野「ハード（施設等）とソフト（心と情報）」とその推進事業を定める。

### 【主な意見】

○バリアフリー基本構想や地域福祉計画との関係など、他の計画との位置づけに留意し、計画を策定すること。

○他の計画との連携や役割を踏まえ、推進戦略を示した計画とすること。

○指摘された文言の整理をすること。

**【審議結果】**

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

議題2：町田市中心市街地まちづくり計画の策定について（都市づくり部・経済観光部）

**【付議の目的】**

○町田市中心市街地まちづくり計画の策定について承認を受ける。

**【提案の概要】**

周辺都市との厳しい都市間競争の中、町田市が埋没せずに選ばれ続けるまちであるためには、これまでのまちづくりで形成された資源を活かしながら、多様な魅力を持つまちになることを目指し、“質の向上”に重点を置いたまちづくりに向けて再スタートする必要がある。このためには、官民一体となった取り組みや、「担い手の拡大」「既存資源の活用」「柔軟かつ広がりのある進め方」といった視点を持った「新しいまちづくりの進め方」への転換が必須である。そこで、地元商業者、地域住民代表者などによって構成される町田市中心市街地活性化協議会と連携し、まちづくりを進める上での“道しるべ”となる計画として、2016年3月22日～4月21日に実施した「中心市街地まちづくりに関する意見募集」での意見を踏まえ、町田市中心市街地まちづくり計画を策定した。

本計画では、将来のまちの姿を「夢」かなうまち ～新たな賑わいと交流の創出～と掲げ、また、6つの「目指すこと」として、①駅が快適・便利、②まちに行く目的がたくさんある、③まちの魅力が向上しゆっくり過ごせる、④多くの出会い・活動が生まれる、⑤ライフスタイルの選択肢がたくさんある、⑥通りが快適で楽しいを掲げる。また、まちづくりの実現に向けた取り組みとして、「駅前空間大規模店舗魅力向上プロジェクト」や「まちの魅力情報発信プロジェクト」等の10のプロジェクトを掲げる。

**【主な意見】**

○アンケート調査により得られた市民意見や市民感覚を、今後の施策や事業の推進に活用すること。

**【審議結果】**

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

議題3：（仮称）町田市観光まちづくり基本方針策定について（経済観光部）

**【付議の目的】**

○（仮称）町田市観光まちづくり基本方針の方向性及び進め方等について承認を受ける。

#### 【提案の概要】

町田市では、2009年に観光振興の中心的な役割を担う組織として「町田市観光コンベンション協会」の設立や、2010年に「町田ツーリストギャラリー（観光案内所）」の開所など、各種の観光施策を展開してきた。

一方で、町田市の観光を取り巻く環境は、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、多摩都市モノレールの町田市方面延伸など、今後大きく変化していくことが予想されており、町田市ならではの観光を求める志向が高まってきている。また、市民意識の面に着目すると、近隣市と比較し、「市民であること」に誇りを感じている人の割合が、相対的に下回っているという課題があげられている。

このような背景を受け、交流人口の受け入れ態勢を強化するとともに、町田市ならではの観光資源を地域とともに磨き上げ、町田市民が町田市の良さを再認識し誇りが持てるような取り組みを行うための指針として「(仮称)町田市観光まちづくり基本方針」の策定を行う。「(仮称)町田市観光まちづくり基本方針」には、町田市の目指す将来像を掲げるとともに、その実現に向けた取組の方向性を示す。

策定にあたっては、市民、団体、事業者等が共通認識を持ち目指すべき方向性に進めるよう、町田市が目指す「観光まちづくり」を定義するとともに、庁内、市民、関連団体等の意見を聴取し、反映させていく。

#### 【主な意見】

- 町田市の目指すべき観光の方向性を検討したうえで、町田市ならではの観光まちづくりの基本方針となるよう内容を整理すること。
- 本基本方針の目指す成果指標を整理し、その上で策定検討委員会のメンバーを再考すること。

#### 【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。